

せいしょ ふくいんし
《聖書》マタイによる福音書 21:33-43

ごうりか 合理化

いま わたし み
今の私たちのまわりを見まわすと、な
むだ かんが
るべく無駄をなくそうという考えがあり、
ごうりか かんが
『合理化』はとてもよいことと考えられ
ています。確かに、合理化によって地球
しげん むだ つか
の資源を無駄に使わなくなれば、それは
けっこう ごうりか もくてき
結構なことです。しかし、合理化の目的
りえき
はいかにたくさん利益をあげるかにあ
ります。

かんが したが あそ と
こうした考えに従って、遊んでいる土
ち なに りよう
地があれば何かに利用しようします。
みず なが かわ
水のあまり流れていない川にはふたをし
て、道路にしてしまいます。空間があい
ていれば高層ビルを建てようします。

このように、どんどん無駄をはぶこう
すす か てい なか たいせつ
と進められていく過程の中で、大切なも
うしな き こう
のが失われていくような気がします。工
じょう あたら き かい どうにゅう ある き
場では、新しい機械が導入され、古い機
械はこわされています。今まで十人が働
かっていたのに、たった二人だけで働くこ
とになります。その結果、八人は別の仕
ごと しつぎょう
事にまわされたり、失業してしまいます。

しんかんせん そうおん
新幹線のスピードアップによって、騒音
もんだい で
問題が出てきています。

す いし 捨て石

い かた
イエスの生き方はどうだったでしょう
とうじ しはいしゃ み やく
か。当時の支配者たちから見れば、役に
す いし げんたい
たたない捨て石だったのです。現代でも、
おな い
イエスと同じように生きようとすれば、
ごうりか
合理化にはついていけそうにありません。
けっか き こうどう りえき
結果だけを気にして行動したり、利益だ
もと こうどう ひとり ひと
けを求めて行動するのではなく、一人一
り どりょく すがた ひょうか
人の努力している姿を評価していくこと
たいせつ
が大切です。

し むだじ かんが
イエスの死は無駄死にのように考えら
れがちです。目に見えた成果も得られず、
さいご したが せし
最後には、つき従っていた弟子たちから
み す
も見捨てられました。

こうか み むだ ど
効果の見えてこない、無駄なような努
りょく たいせつ
力こそ大切にすべきなのです。こうして
し わたし せいかつ ど
こそ、イエスの死が、私たちの生活の土
たい いし
台となる石にかわっていきます。なんの
とく み こうどう
得にもならないように見える行動にも、
かち み だ
価値を見い出すことができるようになり
ます。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきのしょうざぶろう
年間第27主日A年（瀧野正三郎）